# 訂　正

『日本精神神経学会　精神科専門医テキスト』に誤りがございましたので訂正してお詫び申し上げます。

| 頁 | 訂正箇所 | 誤 | 正 |
|---|---|---|---|
| 131 | 左段 21 行目 | 体感幻覚（cenesthesic hallucinations） | 体感幻覚（cenesthetic hallucinations） |
| 171 | 左段 18 行目 | 筋拘縮の程度は | 筋固縮の程度は |
| 289 | 表 11：Y-BOCS の特徴 | 強迫観念と強迫行為について，それに占めらる | 強迫観念と強迫行為について，それに占められる |
| 299 | 右段下から 2 行目 | 電気けいれん療法（electoconvulsive therapy） | 電気けいれん療法（electroconvulsive therapy） |
| 582 | 右段 7 行目 | 離隔不要 | 離隔~~不要~~ |
| 582 | 右段 8 行目 | 脱抑制不要 | 脱抑制~~不要~~ |
| 582 | 表 2 左欄 2 段目 | 離隔不要 | 離隔~~不要~~ |
| 582 | 表 2 左欄 4 段目 | 脱抑制不要 | 脱抑制~~不要~~ |

p582

**表 2　5 つのパーソナリティ特性（ICD-11）**

| | |
|---|---|
| 否定的感情<br>（negative affectivity） | この特性の中核は，広範囲にわたる陰性（negative）の情動を体験する傾向であり，以下の共通した表現を伴う．広い範囲にわたる陰性の情動が，その状況に不釣り合いなほどの頻度や強度をもって体験されること・情動の不安定さやそのコントロールの乏しさ・否定的な態度（negativistic attitudes）・低い自尊心や自信の乏しさ・他人への不信感．ちなみにこの特性は ICD-10 では回避性 PD に相当するとされる． |
| 離隔~~不要~~<br>（detachment） | この特性の中核は，対人的な距離や情緒的な距離を遠くに保つ（対人的な離隔，情動的な離隔）という傾向であり，以下のような共通した表現を伴う．社交的な離隔（社交的な交流の回避・交友の欠如，親密さの回避）・情動的な離隔（打ち解けなさ，高慢，限局された情動的な表現や体験）．ちなみにこの特性はICD-10では統合失調質 PD に相当するとされる． |
| 非社会性<br>（dissociality） | この特性の中核は，他者の権利や感情を無視することで，自己中心性や共感の欠如の双方を含む．そして以下の共通した表現を伴う．自己中心性（例えば強い権利意識や他者からの尊敬を期待すること，陽性ないしは陰性の注意を惹くための行動，自分のニーズや欲望や心地よさに関心がある一方で，他者のそれらには無関心なこと）・共感の欠如（例えば自分の行動が他者に迷惑であったり他者を傷つけたりすることへの無関心さであり，それは他人を欺いたり操作的だったり搾取的だったり，他人に意地悪で暴力を振るったり，他人の苦しみに対して無関心だったり，自分の目標を達成するためには容赦ない，などを含む）．ちなみにこの特性は ICD-10 では精神病質（psychopathy）に相当するとされる． |
| 脱抑制~~不要~~<br>（disinhibition） | この特性の中核は，直接の外的ないしは内的な刺激（すなわち感覚，情動，思考）に対してそれがネガティブな結果を生む可能性を考慮せずに唐突に行動をとるという傾向であり，以下の共通した表現を伴う．衝動性・気の散りやすさ・無責任・無謀さ・計画の欠如．ちなみにこの特性は ICD-10 では演技性 PD，自己愛性 PD，BPD に相当するとされる． |
| 制縛性<br>（anankastia） | この特性の中核は，完璧さや物事の良し悪しに関する当人の厳格な達成水準や，それらの水準に見合うように自分や他者の行動および状況をコントロールすることに，意識を集中させることであり，以下の共通した表現を伴う．完璧主義（例えば社会規範や義務や物事の良し悪しの規範へのこだわりや，詳細で頑なでシステマティックな日常のルーチンへのきめ細かな注意や，極度に詳細なスケジュールやプランを立てることや，整理や秩序や整頓を強調することなど）・情動と行動の制限（例えば情動表現の頑なな制限，頑固さや融通の利かなさ，リスクの回避，保続，過剰な熟慮など）．ちなみにこの特性は ICD-10 では強迫性 PD に相当するとされる． |

〔Ekselius, L.：Personality disorder：a disease in disguise. Ups J Med Sci, 123（4）；194-204, 2018[17]より引用〕

株式会社新興医学出版社